



2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年6月12日

上場会社名 株式会社カドス・コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 211A URL <http://cados.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 博文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 星野 真寛 (TEL) 083-974-5007
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第3四半期の業績(2025年8月1日~2026年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	3,903	△30.2	258	△64.6	256	△64.9	179	△65.2
2025年7月期第3四半期	5,593	20.2	730	71.3	731	76.3	514	88.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	178.14	—
2025年7月期第3四半期	513.03	470.29

(注) 2026年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	8,151	4,389	53.8
2025年7月期	7,821	4,361	55.8

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 4,389百万円 2025年7月期 4,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期(予想)	—	—	—	180.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の業績予想(2025年8月1日~2026年7月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△20.9	480	△48.8	470	△49.9	320	△51.4	317.81

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の修正については、本日(2026年6月12日)公表いたしました「2026年7月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年7月期3Q	1,012,500株	2025年7月期	1,012,500株
2026年7月期3Q	5,600株	2025年7月期	5,600株
2026年7月期3Q	1,006,900株	2025年7月期3Q	1,003,620株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、同日TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の通商政策に加え、中東情勢への不安もあり、世界的な資源・エネルギー・原材料価格の上昇が続くなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共設備投資、民間設備投資ともに堅調に推移しているものの、建設資材価格の高止まりや、技能労働者不足による労務費の高騰が建設コスト全体の上昇につながるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で、当社は、建設事業においては、カドスタウン（郊外型複合商業施設）の展開を軸とした受注増大を重点目標とし、ドラッグストア、食品スーパー、家電量販店、飲食店、コンビニエンスストア等のテナント企業のうち、出店意欲の高い企業を引き続き受注ターゲットの中心とする一方で、高止まりする建設コストを反映させた適正な請負価格を設定するという、収益性を意識した受注活動を推進継続してまいりました。また、受注先からの要請を優先しながらも、安全かつ円滑な工事の進捗を意識した工期の平準化にも引き続き取り組んでまいりました。

不動産事業においては、安定収益の確保・拡大を目的として、賃貸用不動産の新規取得に尽力してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、3,903百万円（前年同期比30.2%減）となりました。利益面につきましては、売上総利益率が19.1%（前年同期は21.8%）と前年同期と比べ低下した一方で、販売費及び一般管理費については、485百万円（前年同期比0.1%減）と僅かながら減少しましたが、売上高減の影響は大きく、営業利益は258百万円（前年同期比64.6%減）、経常利益は256百万円（前年同期比64.9%減）、四半期純利益は179百万円（前年同期比65.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

(建設事業)

建設事業売上高は、期首時点の受注残高が前期の期首と比べ538百万円減少したことや、第4四半期以降への工事着工時期の変更などにより、2,953百万円（前年同期比36.6%減）となりました。また、第4四半期への繰越工事高は2,602百万円（前年同期比107.9%増）となりました。利益面につきましては、適正な請負価格の設定や、固定費圧縮に努めたものの、売上高減の影響は大きく、セグメント利益は15百万円（前年同期比96.7%減）となりました。

(不動産事業)

不動産事業売上高は、新規取得した賃貸用不動産による不動産賃貸収入の増加により、950百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、不動産の新規取得を推進するなかでの一時費用の計上もあり、セグメント利益は243百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の資産合計は8,151百万円、負債合計は3,762百万円、純資産合計は4,389百万円となり、前事業年度末と比べ総資産は330百万円増加しております。

(資産)

流動資産は前事業年度末と比べ365百万円減少し、1,632百万円となりました。収益物件としての「建物」「土地」の取得や「社債」の満期償還などにより「現金及び預金」が404百万円減少したことが主な要因であります。

固定資産は前事業年度末と比べ695百万円増加し、6,518百万円となりました。収益物件としての「建物」「土地」の取得などにより有形固定資産が570百万円増加、投資その他の資産が145百万円増加したことが主な要因であります。

(負債)

流動負債は前事業年度末と比べ45百万円減少し、1,766百万円となりました。運転資金の借入により、「短期借入金」が600百万円増加しましたが、社債の満期償還により「1年以内償還予定の社債」が500百万円減少、「未払法人税等」が254百万円減少したことが主な要因であります。

固定負債は前事業年度末と比べ347百万円増加し、1,996百万円となりました。収益物件の取得や社債の満期償還に伴う資金調達として「長期借入金」が309百万円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

純資産は前事業年度末と比べ28百万円増加し、4,389百万円となりました。配当金151百万円を支払いましたが、四半期純利益を179百万円計上したことが要因であります。

この結果、自己資本比率は53.8%（前事業年度末は55.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、最近の業績の動向を踏まえ、2025年9月12日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2026年6月12日）公表の「2026年7月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009,824	605,668
完成工事未収入金及び契約資産	719,276	669,226
販売用不動産	—	21,758
仕掛販売用不動産	14,380	—
未成工事支出金	21,303	10,916
貯蔵品	666	442
その他	233,494	325,404
貸倒引当金	△789	△789
流動資産合計	1,998,157	1,632,627
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,345,264	2,344,062
土地	1,839,733	2,046,839
その他（純額）	237,712	601,875
有形固定資産合計	4,422,710	4,992,776
無形固定資産	351,841	331,435
投資その他の資産		
繰延税金資産	332,305	345,765
その他	716,536	849,009
投資その他の資産合計	1,048,842	1,194,775
固定資産合計	5,823,394	6,518,987
資産合計	7,821,551	8,151,615

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	506,372	468,494
短期借入金	—	600,000
1年以内償還予定の社債	500,000	—
1年以内返済予定の長期借入金	81,495	181,228
未払金	56,130	40,771
未払法人税等	254,267	—
未成工事受入金	75,966	87,640
賞与引当金	120,000	132,000
完成工事補償引当金	15,400	12,400
その他	202,161	243,504
流動負債合計	1,811,793	1,766,038
固定負債		
長期借入金	540,183	849,344
退職給付引当金	93,590	89,920
役員退職慰労引当金	191,245	197,183
資産除去債務	186,694	194,697
その他	636,917	664,965
固定負債合計	1,648,630	1,996,110
負債合計	3,460,423	3,762,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,043	119,043
資本剰余金	540,142	540,142
利益剰余金	3,719,566	3,747,904
自己株式	△17,623	△17,623
株主資本合計	4,361,128	4,389,466
純資産合計	4,361,128	4,389,466
負債純資産合計	7,821,551	8,151,615

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年8月 1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年8月 1日 至 2026年4月30日)
売上高	5,593,016	3,903,659
売上原価	4,375,813	3,159,064
売上総利益	1,217,203	744,595
販売費及び一般管理費	486,240	485,789
営業利益	730,962	258,806
営業外収益		
受取利息	4,375	4,813
建設協力金精算益	5,831	—
その他	2,086	2,144
営業外収益合計	12,293	6,957
営業外費用		
支払利息	9,952	8,461
その他	1,734	500
営業外費用合計	11,687	8,961
経常利益	731,569	256,802
税引前四半期純利益	731,569	256,802
法人税、住民税及び事業税	281,579	90,889
法人税等調整額	△64,892	△13,460
法人税等合計	216,686	77,429
四半期純利益	514,882	179,373

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期 損益計算書計 上額(注)
	建設 事業	不動産 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,659,582	933,434	5,593,016	5,593,016	—	5,593,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,659,582	933,434	5,593,016	5,593,016	—	5,593,016
セグメント利益	460,212	270,750	730,962	730,962	—	730,962

(注) セグメント利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期 損益計算書計 上額(注)
	建設 事業	不動産 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,953,278	950,381	3,903,659	3,903,659	—	3,903,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,953,278	950,381	3,903,659	3,903,659	—	3,903,659
セグメント利益	15,258	243,547	258,806	258,806	—	258,806

(注) セグメント利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	196,956千円	219,382千円